

令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【地域連携実践重点校用】

学校番号	17
学校名	富山県立富山いずみ高等学校

重点課題	多様な進路志望及び学力の生徒が在籍しており、学習意欲や学習到達目標に大きな開きがみられ、それぞれの生徒に応じた学習指導や進路指導が必要である。そのため、全体指導に加えて、個別指導を丁寧に行う必要がある。 「自己の進路への自覚」を深めさせるためには、主体的・対話的で深い学びの実現の視点に立ち、生徒一人ひとりのキャリア発達を促し、勤労観・職業観を育てる取り組みや支援の在り方の工夫、教師の授業改善などが求められる。
課題設定の趣旨	1. 実践的な学びの機会の提供 地域の企業・医療機関・福祉施設・自治体などと連携することで、生徒は教室の学びを実社会と結びつけることができる。総合学科では企業や行政機関、地域団体との連携によってデザインされる探究活動を通して、自分の適性や興味を確認し、進路選択の判断材料を得る。また看護科では病院や介護施設での実習を通じて、現場での経験を積み、専門職としての意識を高めることができる。 2. 地域の課題解決への貢献 特に地域連携は、生徒の学びを深めるだけでなく、地域の課題解決にもつながる。総合学科の生徒が地域活性化に関するプロジェクトを立案・実行したり、看護科の生徒が高齢者への健康支援活動に参加したりすることで、実社会での役割を意識しながら貢献することができる。このような活動は、生徒たちが地域とのつながりを実感し、将来的に地元での就職や社会貢献を考えるきっかけとなる。
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	1. 生徒のキャリア意識の醸成 単に職業体験を提供するだけでなく、生徒自身が主体的にキャリアを考え行動できるよう支援することが重要である。そのためには、進路指導の充実やキャリア教育の一環として、ロールモデルとなる社会人の講演や卒業生との交流、探究学習などを組み込むことが有効である。特に、地域で活躍する先輩の姿を知ること、「地元で働くこと」や「地域に貢献すること」への関心が高まる。 2. 多様な進路選択の支援 総合学科や看護科では、大学・専門学校への進学、地元企業への就職、さらにはUターン・ターン就職など、多様な進路が考えられる。地域内外の進学・就職情報を充実させ、幅広い選択肢を提示できるようにすることが求められる。また、地域を超えたネットワークを活用し、県外の大学・企業とも連携を深めることで、生徒の選択肢を広げることができる。
実施内容 (具体的に記入する)	○総合学科1学年の取組 ①全体説明会では「産業社会と人間」を学ぶ意味について説明を聞き、これからの1年間の学習の意義を学んだ。「自己を語る」では自分自身を理解し、将来の目標について発表を行った。 ②職業研究では「働くこと」の意義について考えた。適性診断で自分の適性や興味について、関連する職業について調べて級友との情報交換を行った。多様な職業を知ること職業に対する視野を広げることができた。 ③学問研究では、学問と職業のつながりについて調べた。学ぶことの意義や進路について考えを深めることができた。 ④科目選択ガイダンスでは、自分の将来を考え進路選択に必要な科目を決めた。 ⑤先輩と語るでは、卒業生から大学の様子や学問研究、高校時代の取り組みなどを聴き、現在の自分のあり方を考え直す良い機会となった。 ⑥新商品開発プロジェクトでは、同じ分野に興味関心を持つ生徒同士がグループを組み、身近な課題解決につながる商品やイベントを協力して企画し、その魅力や意義を発表した。 ⑦「クエスチョンX」は、探究学習のベースとなる「問いづくり」の楽しさを体感し、問いを持って生きる態度を養うプログラムである。企業訪問に際し企業活動の課題発見につながるよう実施した。 ⑧～⑩地域・企業探究、企業訪問、地域社会探究では、訪問する企業の取り組みや地域・社会とのつながりについて事前に調べ、見学時に調べたことの内容について質問を行った。企業が社会にどのように貢献しているかを学んだ。事後学習では、企業訪問で学んだことをまとめ、課題解決にどのように取り組んでいたのかを考え、まとめたことを発表した。 ⑪産業社会と人間発表会：学習の単元ごとにグループを組み、これまでの学習を元にさらに調べ深めた情報やアイデアをプレゼンテーション形式で発表した。1年間の活動を振り返りながら自分の成長を見つけ、学んだことを今後にどう生かすかについて考える機会となった。 ⑫「産業社会と人間」報告集：1年間の学習を振り返り、「産業社会と人間」の授業で学んだことや今後の進路に生かしていきたいことなど、学習の成果をまとめた。 ○総合学科2学年の取組 AB探究活動講演会：「南富山を考える会」や地域企業から講師を招き、富山いずみ高校周辺の地域課題について学ぶと共に、探究学習の意義について考えることができた。 C科目選択ガイダンス：3年次の科目選択について考えると共に、自己の進路目標を確認する機会になった。 D探究活動フィールドワーク：それぞれの探究課題について関係する現場に赴き、実際に仕事や活動に従事する関係者に取材した。 E探究活動講演会：外部講師を招聘し、探究活動中間発表に向けて学習内容を整理しスライドにまとめて作成する方法を学んだ。 F探究活動中間発表：大学教員や外部の専門家の方々から研究内容についてアドバイスをいただき、課題解決に向けた探究活動を再考することができた。 G進路講演会：外部講師を招聘し、入試の現状や学習方法について講義を受けた。学習意欲と進路意識を高める機会となった。 H出前講座：大学、短大などから14名の講師を招き、模擬授業を体験した。専門的な学びや研究の一端に触れ、上級学校での学びについて関心を深めた。 I探究活動最終発表会：大学教員や外部の専門家の方々から探究内容について評価をいただき、一年間の探究活動の学びを意味づけすることができた。また、今後の進路を定めていく上で重要な経験を得ることができた。 J志望理由書に関する講演会：外部講師を招聘し志望理由書の書き方を学んだ。将来の進路志望の具体的な理由を考える契機となった。 K主権者教育「選挙に関する出前授業」：富山県選挙管理委員会から講師を招き、選挙制度や投票することの意義について学び理解を深めた。
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	1学年：自分の過去を振り返って語る3分間スピーチをはじめ、ワークショップやグループ学習、発表活動を行い、情報収集力、他者と協働する力、コミュニケーション力を培った。各ステージごとにクラス規模で発表を行う機会を設けて経験を積ませたことで、年間を通じて情報をまとめわかりやすく伝える力が向上した。また、ステージごとの学びについて振り返りを行い、次の活動につながるような工夫を行った。地元の企業訪問は地域と企業のつながりを知るだけでなく、地域の方から学びの機会を得る貴重な体験となった。最終全体発表会には、これまでの学びをふまえ、一歩踏み込んだアイデアや情報を発表する姿が見られた。また自分のキャリアと結びつけたコメントも多く聞かれた。 2学年：進路学習や探究活動を通して、自分の興味関心と社会の問題を関連付け、将来の進路についてより具体的に考えることができた。研修旅行での大学見学や施設訪問で本物に触れた経験は、自分自身の将来について深く考える契機となった。特に1年間を通して取り組んだ探究活動においてはテーマを見つけ、情報を集め整理し、発表するというプロセスを体験した。これらの活動は思考・判断・表現の力を高め、これからの社会に必要な力を身に付けることができる活動となった。進路講演会や出前講座では、実際の大学の先生の話から、進路目標の実現に向けて具体的な行動を促す機会となった。 3学年：卒業課題研究においては、進路に関わる調査・研究を行うことにより、自分の将来をより具体的に考え、目標をもって学習に取り組むことができるようになった。行政相談講座や年金セミナーでは、日常生活と行政の関わりについて理解を深め、安心・安全な社会で暮らせるように困ったことがあれば相談する術も学んだ。また安全教育講話では、心身の健康や適切な行動選択・意思決定の重要性を学んだ。いずれも、今後の道しるべとなる学びになった。 高校看護科：各グループ事例を通して行った看護を振り返ることで実習体験の共有を図り、深い学びにつながった。またグループ発表によってプレゼンテーション能力や看護師に必要なコミュニケーション能力を高める一助となった。 専攻科看護科：卒業生との進路懇談会(専2年)では卒業生を招いて、進路や学習方法についての情報やアドバイスを心得職業観を養い進路実現への意欲向上の機会となった。看護研究(専2年)では、臨地実習での看護実践の中から感じた疑問点からグループ毎にテーマを決め、科学的根拠に基づいた研究に取り組み探究力の向上を図ることができた。病院実習事例報告会(専1年)では、生徒一人ひとりで臨地実習での看護実践について看護理論を用いて考察し、自己の看護観の育成に繋がった。
対象者(学年・人数など)	1年190名(総150名・看40名)、2年188名(総149名・看39名)、3年179名(総139名・看40名)専攻科看護科66名(1年36名・2年30名)
実施実績	4月 ①全体説明会・自己を語る A探究活動講演会(2年) 5月 ②職業研究 B探究活動講演会(2年) a看護研究(専2年) 6月 ③学問研究 b卒業生との進路懇談会①(専2年) 7月 ④科目選択ガイダンス C科目選択ガイダンス(2年) D探究活動フィールドワーク(2年) e自治会活動健康だより(専2年) 8月 ⑤先輩と語る b卒業生との進路懇談会②(専2年) 9月 ⑥新商品開発プロジェクト E探究活動講演会(2年) 10月 ⑦クエスチョンX F探究活動中間発表(2年) 11月 ⑧地域・企業探究 G進路講演会(2年) 12月 ⑨企業訪問 H出前講座(2年) c看護研究発表会・まとめ集(専2年) d専攻科特別講演会(専1・2年) 1月 ⑩地域社会探究 I探究活動最終発表会(2年) a看護臨地実習グループ発表会・まとめ集(看護科3年) h臨地実習(専1年) 2月 ⑪産業社会と人間発表会 J志望理由書に関する講演会(2年) a卒業課題研究・発表会 β主権者教育(行政相談講座・生活安全講座・年金セミナー) 3月 ⑫産業社会と人間報告集 K主権者教育「選挙に関する出前授業」(2年) γ卒業課題研究報告集 f病院実習事例報告会・まとめ集(専1年)